

# シャローム



## 来たれよ 拝まん わが主を

(カトリック聖歌集 113番『きたれ友よ』)

2021年  
降誕祭号

*Venite adoremus Dominum.*



『吉祥寺教会と聖家族』 画・伊藤 輝巳

### 目次

— 出会い、つながり、一致する共同体 —

One Team Spirit 「一人一役」

司祭団からのクリスマスメッセージ	・・・ 2 p	日曜学校だより	・・・ 9 p
イエスさまを迎える祈りの花束	・・・ 4 p	司祭団からの大切なお知らせ	・・・ 10 p
初聖体おめでとう	・・・ 6 p	教会の営みをみんなで支えよう	・・・ 11 p
七五三おめでとう	・・・ 8 p	教会の動き・司祭団の近況	・・・ 14 p

司祭団からの

# クリスマスメッセージ

今年は、「心に残ったクリスマス」というテーマで、  
神父さま方に想いを分かちあっていたいただきました。  
皆さまにも神父さまの豊かなお恵みがありますように。

## ビジュ・キシヤケール

子どもの頃、クリスマスの夜中12時のミサの前に、太鼓をたたき、爆竹をならして、にぎやかに信者、未信者関係なく村中の家を回ってクリスマスキャロルを歌いました。インドの故郷で現在も続く習慣です。

隣の家から家へ5分、10分、15分、でこぼこ道をたいまつで照らしながら歩いて、待っている人々のところにこの夜イエス様の降誕の喜びがあったことを歌で披露し、世界中に平和があるように祈っていたことが忘れられません。

## 荒田 啓示

心に残っているクリスマスと言えば、オーストラリア研修中に迎えたクリスマスでしょうが。

「クリスマス＝冬」のイメージしかなかった私が初めて迎えた真夏のクリスマスでしたが、とにかく暑かったです。湿気はそれほどなかったのですが、40度を超える気温の中、冷房も扇風機もないところで汗だくになりながらミサにあずかったことは新しい体験であり、強烈な思い出もありました。

## ボスコ・マニマラ

神父になってからたくさんクリスマスがありました。イエス様が生まれてから2000年のクリスマス、私はイギリスにいました。クリスマスはイエス様を特によく敬う日です。日本ではどうだったか分かりませんが、イギ



リスではその年を「EVANGELIZATION 2000」と言い、イエス様のすばらしさをよくお祝いしました。

私は神父としてインドからイギリスに came ましたが、イエス様は全世界にいらっしやう、全世界で敬われています。それはとてもすばらしいことです。このことはクリスマスでなくてもいつも考えています。

## ロベルト・ソリス

フィリピンでの子供の時、12月25日の朝はミサがありました。ミサの後、侍者の子供たちは3つか4つのグループに分かれ、幼子のイエス様の人形を連れて、村中の家々を回りました。家の人たちは幼子のイエス様にキスをします。そして侍者の子供たちには食事やお菓子を出してくれました。その家が親戚や代父など知り合いの家だと特別におこづかいがもらえました。このようにして午後3時くらいまで家々を回って歩いたのがクリスマスの楽しい思い出です。

## ラディティア・クルニアディ

初めてクリスマスが特別なお祝いだと気付いたのはインドネシアで、幼稚園の頃でした。その時大きなホールで私と他のたくさんの子供たちはサンタさんから順番にプレゼントをもらいました。とても嬉しく感じた経験でした。その頃、イエス様の誕生のことは全然知りませんでした。クリスマスは贈り物もらう日だと子供の私は考えていました。

しかし、その考えを今もう一度考えてみたら、本当にその通り。クリスマスは最高な贈り物ではありませんか。だから、子供の頃の私を感じていたこと、興奮して、嬉しくて、とても幸せだったことが、今でも、クリスマスをお祝いする度に感じられるのかな。

## 後藤 文雄

特に心に残っているクリスマスはない。教会ではイエスの降誕が時系列の始まりのように語られ、祝われるが、私

の中で、そこは始まりではない。復活、それが信仰の始まりである。

これまでドイツ、アメリカ、ベトナム、カンボジアなど、さまざまな国においてクリスマスの祝いを体験してきたが、どこもかしこも電飾をこれでもかと付け、行き過ぎた飾りをして「クリスマスの雰囲気」だと語る。そうしたものが本当にイエスの降誕の祝いなのだろうか。

貧しさの中にあつての祝いに立ち返り、みことばの受肉をよりよく表現できる真のクリスマス、今も自分の中で求め続けている。



# イエスさまを迎える

## 祈りの花束



Merry Christmas!

### お生まれになったみどりご

星野 倫淳 とちひろ 神学生

クリスマスのミサの朗読は、こう告げています。

「ひとりのみどりごがわたしたちのために生まれました。」

そうです。神の御子がわたしたちのためにお生まれになりました。クリスマスはわたしたちのお祝いです。父なる神がわたしたちを愛して、ご自分の最愛の子を下さったからです。神の子はわたしたちと同じ人間になってくださいました。天使のお告げの後、神の子は人の子としてマリアの胎に宿られました。そして暗き夜、貧しい家畜小屋で、みどりごとして

お生まれになったのです。

ではこの神秘は何を語っているのでしょうか。イエスはわたしたちとともにおられる神、つまりこれを読んでいる「あなた」と一緒におられる神です。あなたの人生がいのちの最初の瞬間から神と結ばれるものとなるために、イエスも母の胎内に宿られたのです。イエスは暗き夜にお生まれになりました。それは世の光として、あなたがどれほどの暗闇のうちにあっても光を見出せるようにと、そうなきったのです。彼は貧しくお生まれになりました。それはあなたの貧しさを「自分のものとするためでした。この幼子は成長し、大人になります。それはあなたの成長を神の愛の眼差しのもとにおくためでした。彼は後に、罪人とみなされ、十字架の上で殺されるでしょう。それはあなたの罪

をご自分が引き受けるため、そしてあなたの死を永遠の命に変えるためでした。お生まれになった幼子はメシアで、ご自分の民を罪から救うかただったからです。神はすべての人間をイエスのうちに結び合わせ、ご自分のもとに引き上げるために、御子を世にお遣わしになったのです。わたしたちは、この大きな喜びを祝っているのです。

### クリスマス・プレゼントと ホワイト・クリスマスの夜に

辰巳 信子

クリスマス。地方の、それも祖父を筆頭として、熱心な仏教徒の家に生を受けたわたし。クリスマスの意味など知る由もありません。その日にはプレゼントがもらえるという、楽しみな日としてのクリスマスでした。

幼い頃からわたしは、母に手を引かれてお寺の門を幾度となくくぐっては、住職さんから地獄絵や幻灯を見せていた

だいていました。無限奈落で地獄の業火に焼かれ、のたうち回っている悪人たちや閻魔大王などの地獄絵でした。当時の仏教による宗教教育を存分に浴びながら育ちましたが、後年、受洗への招きにはこの幼少時に培われた宗教心が、その根底にあるような気がしてなりません。

わたしの人生にとって、クリスマスの最高のプレゼントとしていただいた、受洗の恵み。この喜びに勝るものはありません。半世紀近くも昔、受洗のための勉強を終えた後、晩春の暮れなずむ空を見上げながら、岡神父は幼い息子の頭に手を置いて「もう安心、もう安心」とつぶやかれた。キリストに結ばれて生きることの、計り知れない喜びと恵みに満ちたつづきでした。

あれは何十年前のクリスマスだったでしょうが、初めて経験したホワイト・クリスマスの夜半の出来事。降り積もった雪は辺りをいっぺんさせ、聖堂の中には貧しい馬小屋でまどろむ幼子が飾られていました。わたしの視線がその幼子の上に重なったそのせつな、わたしは言いよう

のない喜びに体中が震えあがり、何かがわたしの体を買っていったのです。

キリストは生きておられ、共にいてくださることの実感が、心の奥深くに、強く刻み込まれた、ホワイト・クリスマスの夜。メリー・クリスマス！

## ご降誕の夜

聖霊会 シスター小笠原

「静けき 真夜中 星は光り…」

ご降誕と聞くと、多くの方の脳裏には、この聖歌に歌われている光景が思い浮かぶのではないのでしょうか。静かな夜半に、ほの暗いランプの光に照らされて、馬舟に眠る幼子。見守る母マリアとヨセフ。

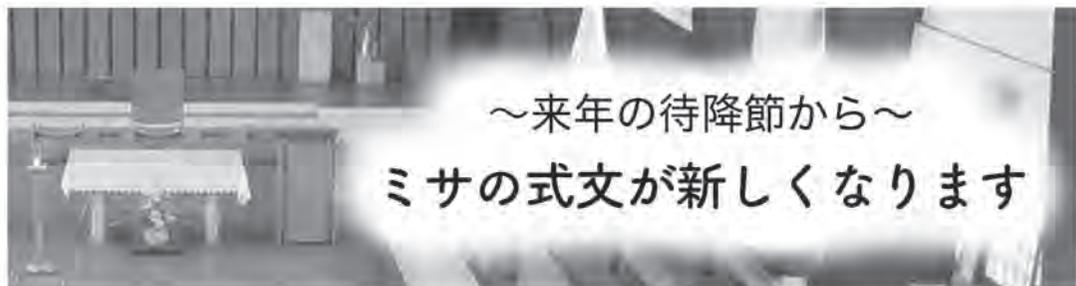
わたしは、この光景に至るまでの道のりに思いを馳せます。ガリラヤの町ナザレから、住民登録のため、出身地のユダヤのベトレヘムへ向かう長い旅路。身重のマリアと少しばかりの荷物をロバに載せて、たづなをとるヨセフ。山を登り、谷を下り、浅瀬を渡っての旅でした。やっとた

どり着いたベトレヘムで宿も取れず、途方に暮れたヨセフに勧められたのは、町はずれの馬小屋、実際には放牧された家畜が、雨や雪を避けて宿る洞窟だったと言われます。

夢に現れた天使によって「自分の民を罪から救う」大切な子と言われた赤子を宿すマリアを、家でも小屋でもない洞窟に泊めるしかない心苦しさをヨセフは感じていたことでしょう。そこで産気づいたマリアの様子にヨセフは緊張します。出産の用意はしてあったでしょうが、産湯にするお湯を求めて最寄りの家に走ったでしょう。すべてが終わって落ち着いたとき、マリアとヨセフは喜びに満ちたされたでしょう。安らかに眠る幼子を見つめて。

「神の子イエス」は王の宮殿でも、貴族の館でもなく、家畜の避難所で生まれました。最初にこの幼子イエスを拝みに来たのは、夜どおし羊の番をする貧しい人たちでした。これがおん独り子を遣わされたおん父のご計画でした。貧しい人の友となるようにと。

(聖ヨセフ特別年のクリスマスに)



～来年の待降節から～

## ミサの式文が新しくなります

2022年11月27日、待降節第1主日から、日本の教会では、新しいミサの式文が適用され、これまでのミサで使用していた祈願や応答の言葉が新しいものになります。

カトリック教会は、全世界共通となる「典礼書」(ローマ・ミサ典礼書)の規範版、そしてその典礼書をよりよく生かすための「総則」をラテン語で発行する伝統を続けています。

ミサ典礼書の一番古いものは1570年トリエント公会議で定められました。現在使われている式文の元になるローマ・ミサ典礼書のラテン語規範版は、第二バチカン公会議後の1970年に定められたもので、その後1975年、2002年とすでに2回改訂されています。現在使われている日本語のミサ典礼書は1975年の第2版の重要な部分を翻訳してバチカンから暫定的な認証を受けたものです。

今回の変更は、2002年に発行された『ローマ・ミサ典礼書』第3版に基づいた日本語への翻訳がローマで承認されたことを受けてのもので、翻訳と承認に20年かかっていることからとても大変な作業であったことがわかれると思います。

この新しいミサの式文の適用を開始するに当たって、これから1年間かけて、各教会は言葉の変更箇所、司式者の所作、新しいミサ曲についてなど、さ

まざまな確認を行なっていくことになります。

東京教区では現在、司祭に向けての説明を進めているところです。信徒に向けては、来年、教区主催の説明会が予定されています。

吉祥寺教会では、司祭団と典礼奉仕者連絡会を中心に、信徒の皆様への周知、準備を徹底し、混乱することなくスムーズに新しいミサの形をお祝いできるようにしていきますので、よろしくお願ひします。

また、今回の式文変更に先立って、日本の教会は2015年に『新しい「ローマ・ミサ典礼書の総則」』に基づく変更箇所という小冊子を発行し、既に実施されています。これは今回の式文変更の際に適用されるべきものですので、こちらも合わせて再確認していただきたいと思います。

ご不明な点などございましたら、いつでもお尋ねください。

助任司祭・荒田啓示

※日本カトリック典礼委員会発行の冊子『新しい「ミサの式次第と第一」第四奉献文』の変更箇所―2022年11月27日(待降節第1主日)からの実施に向けて』は売店でお求めになれます。また、カトリック中央協議会のホームページには実施手順や変更箇所の案内があります。



教会の営みをみんなでおうちで支えよう

できるひとから  
できることから

主任司祭 ビジュー・キシヤケール



ありますよ

私にもお手伝いできること  
何かありますか？



「私たちの教会」を具体的に意識するために今年度のテーマを「One Team Spirit 一人一役」にしました。シャローム夏号ではこのテーマに寄せてパウロの「リントの信徒への手紙一6章15節に触れました。同じく12章12節からは教会共同体のあり方を私たちの体に響かれています。「体は一つでも、多くの部分から成り、体のすべての部分の数は多くても、体は一つであるように、キリストの場合も同様である。」「神は、御心のままに、体に一つ一つの部分を置かれたのです。すべてが一つの部分であったら、体はどこにあるのでしょうか。しかし、実際は多くの部分があっても、一つの体なのです。」「神は、劣っている部分をかえって尊いものとし、体を二つにまとめあげて下さいました。それは、体

の中に分裂が起こらず、各部分が互いに配慮し合うためです。一つの部分が苦しめば、すべての部分が共に苦しみ、一つの部分が尊ばれば、すべての部分が共に喜ぶのです。あなたがたはキリストの体であり、一人一人はその部分です。」  
私たちは神様から賜物を受けています。まさに一人一人が体の一部、教会共同体が一つの体です。今年度のテーマを考える時、まず、そのことを考えてください。体のさまざまな器官が互いに連携しているように、将来を担う若者や子供たちの居場所を大切にしながら全ての信徒が連携すれば、元気な体、教会共同体になります。誰にでもできることがあります。共同体の一員としてできることをぜひ探して下さい。

また、信徒一人一人は宣教者です。自分の信仰を自分だけに秘めておくのではなく、キリスト者として家族を始め、他の方々に広める務めがあります。信仰だけでなく、今まで自分が教会内で担ってきた役割もまた自分だけに秘めておくのではなく、他の人、特に次の世代の人に伝え、共に担っていくことも大事です。

信徒数の多い吉祥寺教会は100歳を超える方から0歳の赤ちゃんまで全ての世代がそろっていて、一つのとても大きな家のような家です。その家にはいろいろな国の方も同居しています。ご自分の家での日常を考えてみてください。毎日、家族の間で「あれ手伝って」「これ手伝って」と気軽に声をかけ合い、助け合っているのではないのでしょうか。そこに外国の方が同居していたら、お互いの違いを教え合うのではないのでしょうか。大きな家である教会でも同じようにできると良いと思います。

「一人一役」という言葉にしり込みしてしまう方もいらっしゃるかもしれませんが、どうぞ、家族の一員としておうちの手伝いをするつもりで、まずはひとつ、できることをやってみましょう。



さてここで!

# お楽しみ適性チャート診断 START!

- ①こう見えても私は16歳以上だ
- ②ここだけの話だが私は15歳以下だ

- ①気持ちはあるが1ミリも余裕がない
- ②時間のある時にピンポイントで
- ③お手伝いするなら定期的に

ようこそ  
日曜学校へ♪

仲間のどこかにいる少年時代のイエスを探してお友達になりましょう! 保護者の皆さんどうぞよろしくお祈りします!



あがり症なので人前になると緊張して固まってしまう

YES NO

時間を潰すなら

①ホームセンター ②本屋

1 2

初対面でサクッと自己紹介して打ち解けるのはあまり得意じゃない

YES NO

《梱包材のプチプチを10粒潰しながらロザリオを祈る》

①プレズに祈る自信がある  
②面白すぎて集中できない

1 2

コウベヤと言えば

①美味しいパン屋さん  
②プリフィカトリウムがしまっており

1 2

思わず吸い込まれるのは

①デバ地下  
②DIY素材道具コーナー  
③マルチメディアコーナー

1 2 3

①失敗するとけっこう引きずる  
②自分のも人のも失敗は成功のもとなので立ち直りは早い

1 2

①雑然としても神様は怒らないと信じている  
②快適な空間づくりが得意だ

1 2

OSのアップグレードは

①怖くない  
②私の知らない世界

1 2

作業を進めるときに大切なものは

①段取りと計画性  
②臨機応変な柔軟性

1 2

豚の生姜焼きの生姜の量をレシピを見ずに適当に加減ができる

YES NO

教会の外で宗教の話が出たら

①普通に教会のことを話せる  
②あ〜ちょっと苦手かも

1 2

ホームで電車を待っている時にバツと目が行くのは

①足元の点字ブロックの破損  
②向かいのホームの白杖の人

1 2

## 行事サポートタイプ

教会の営みにも猫の手を借りたいシーズンが。おうちの冠婚葬祭で頼りになる親戚のように、脇を固めるお手伝いで力を発揮するのはいかがなり?

## 広報タイプ

伝えることに命を懸けたパウロのように、発信型の召命が与えられているかも。一緒に神さまを宣べ伝えませんか? レッツ神様の種まき!

## メンテナンスタイプ

ご存知でしょうか? 私たちが活動する教会は特別に祝別された聖なる空間。そこを相応しく維持する為の活躍が期待されています!

## 典礼奉仕タイプ

イエスの時代から大切にしてきた「最後の晩餐」の記念である私たちのごミサ。次の支え手は気配り目配りのできるあなたかも?

【メンテナンスとは】

花の手入れなどの庭仕事、簡単な植木屋仕事、聖堂・会館内外の清掃や維持修理（木工作业、ペンキ塗り等）、電球の取り換えや配線の点検・修理などの電気屋仕事やクリスマスなど季節の装飾まで幅広くお手伝いの場があります。続けることにとらわれず単発的にでも、これならできる、案外得意かもと思えることがきっとあるのでは？皆でワイワイやれたらいいなと思っています。

【典礼奉仕とは】

ミサにまつわる様々な奉仕をする役割のことです。オルガン、聖歌隊、侍者、先唱、朗読係はミサの進行に直接関わる、見える係ですが、神父さまが扱う聖具や祭壇の準備等を支える香部屋係、ミサに参加される方のお手伝いや進行の総合的なサポートをするミサ案内係といった裏方として欠かすことのできない係もあります。より良い典礼のために一緒にしませんか？



～どんな人もどんな時もみ旨のままに～

教会のみんなが  
チームお祈り！

【行事サポートとは】

典 礼行事に伴う祝賀会や歓送迎会などの集まりや「みんなの広場」などバザーのサポートをします。お料理の準備、片付けの台所仕事、プレゼントの用意や企画、会場設営といった黒子の仕事もあります。1日だけのお手伝いでも、楽しくできること間違いなし。コロナ収束後には大活躍！

【広報とは】

紙媒体のシャロームやルアッハーの編集、お庭の掲示板管理、Web版のホームページやYouTube等での発信を担当しています。イラスト、書き起こしタイピング、カメラ撮影、動画編集(配信)、最近では教会に来られない方へのプリント郵送作業もあって大忙し！あなたの技術と知識とセンスを貸して下さい。

多くの人に参加できるように、教会委員会が申し込み用紙を近日中に用意します。乞うご期待♪

ひとつになろう  
キリストのうちに～皆  
ひとつになろう～♪



専門家の視点で教会運営をサポートできる職歴をお持ちの信徒の方がいらついたら、ぜひ、教会委員会、司祭団の相談役になって下さい。私たちの教会を、専門知識を駆使して強力に支えていただければありがたいです。



# 教会の動き

## 〈9月〉

- 10日 東京大司教区から9月30日までの公開ミサ自粛お知らせ
- 24日 東京大司教区から4回目となる緊急事態宣言の解除を受けて、10月1日から公開ミサ、教会活動の再開の公示。

## 〈10月〉

- 27日 ミサ予約再開
- 30日 4回目の緊急事態宣言解除
- 2日 公開ミサ再開  
朗読者席を祭壇前の最前列中央左右に変更
- 3日 日曜学校始業式  
教会委員会  
典礼奉仕者連絡会
- 21日 ビジュー神父、帰国休暇に出発
- 25日 東京大司教区から「クリスマス年末年始期間における教会活動の制限について」お知らせ  
吉祥寺教会でもクリスマスミサ参加者人数を制限、予約制とする。

## 〈11月〉

- 2日 マリア会追悼ミサ・定例会
- 6日 教会委員会
- 7日 七五三祝福式(10時半ミサ)  
典礼奉仕者連絡会
- 14日 避難訓練(10時半ミサ後)
- 21日 初聖体式(9時ミサ)
- 23日 サコム追悼ミサ
- 24・25日 マリア庭園前の桜伐採作業
- 28日 連合委員会  
ミサ参加人数などの緩和・クリスマス、年末年始ミサについて・大掃除について

## 〈12月〉

- 1日 クリスマスミサ予約開始
- 4日 教会委員会
- 5日 典礼奉仕者連絡会
- 〈出席者〉ヨゼフ会・マリア会・日曜学校・青年会若葉・FCCOIN・聖歌隊  
教会委員・司祭 計13名  
聖堂馬小屋、イルミネーションなどクリスマス準備  
日曜学校リーダー、生徒、保護者など有志

## 避難訓練の振り返り

教会委員 細谷 光太郎

11月14日10時半ミサ後に避難訓練を実施しました。

聖堂からの避難の際の注意点を改めてお知らせします。

聖堂内両脇の通路は狭いので、中央の広い通路から避難をお願いします。火事だけでなく、地震の際も揺れが収まってから、安全を確かめ、落ち着いて速やかに聖堂から出て避難しましょう。

訓練では聖堂前藤棚まで避難しましたが、広域避難場所は井の頭公園ですので、さらに危険がある場合は井の頭公園まで避難します。

避難にあたっては周囲の人への気遣いを忘れずに、皆様のご協力をお願いします。皆様の温かいご協力のおかげで有意義な訓練を行なうことができました。ありがとうございました。

災害は起こってほしくないものですが、万が一の際に今回の訓練の経験が役に立てば幸いです。

## 司祭団の近況

荒田神父



今年1年、スーパ一早かったです。私も、歳をとったからでしょうか。

ボスコ神父



今までは大学で働いていましたので、教会の仕事を中心にするのは吉祥寺教会が初めての経験でした。

『Participation』『参加すること』を考え、感じた一年でした。

ラディティア神父



今年1年、新しい任務にチャレンジできて有難く思っています。

皆さんも、コロナ禍でいろいろなことを一生懸命になさっているうちに、そこから新しい決意や熱意が現れてくることを願っています。

ソリス神父



今年も1年大変でした。来年はもっと時間がほしいです。

後藤神父



現在は司祭館を離れて静かな場所にて静養中です。

アンディ神父



9月からの休暇が終わり、クリスマスと一緒にお祝いしているはずですが(12月5日現在)

ビジュ神父



10月からインドに帰国休暇中、1月末に戻る予定です。

2021年度

キリスト教講座

曜日	時間	内容	担当者	対象	場所
第1・第3日曜日	10:30	キリスト教入門講座	丹羽講師	洗礼希望者	1階 中ホール
第2・第4土曜日	15:30	キリスト教入門講座	司祭団	洗礼希望者	1階 中ホール

※ 現在、洗礼希望者のための入門講座のみ開講中です。

◆表紙絵の作者は、紙粘土やお絵かきで子ども達と遊ぶのが大好きな、昭和のお絵かきお姉さんの伊藤輝日さんです。「吉祥寺教会が幼子を迎える喜びに包まれますように」との想いを込めて描いてくださいました。

◆会館内のWiFiを整備しました

パスワードは事務室脇のホワイトボードに掲示しています。会館内でパソコンやスマートフォンを使用する際にご利用ください。

◆年末・年始のミサについて

12月31日(金)・・・ミサはありません。

1月1日(土・神の母聖マリア)・・・10時30分のみ。

※予約は不要です。当日、お名前と連絡先のご記入をお願いします。ライブ配信予定です。

1月2日(日)・・・9時、10時半(17時はありません)

◆詩人三木露風と吉祥寺教会

今年には童謡「赤とんぼ」が発表されて100年でした。作者の三木露風は北海道のトラピスト修道院に文学講師として勤め、その間に受洗しています。昭和3年から三鷹市牟礼に住み、昭和40年1月の葬儀は吉祥寺教会で行なわれました。意外と知られていない出来事です。

◆シャローム次号は2022年4月17日復活祭に発行予定です。

(広報Ⅰ)

■ 売店と事務室の受付時間 (通常) ■

火、水、金、土、日 9:30~17:00

※ 定休日: 月、木曜日、祝日

(受付時間は、変わる場合があります)

売店は当面土、日のみ開店

■ ミサ時間案内 (通常) ■

主日: 9:00 / 10:30 / 17:00

\*第1 15:30 (英語)

第3 15:30 (英語又はタガログ語)

土曜: 17:00 (主日のミサ)

■ 教会報 シャローム ■ NO.501 2021年12月24日発行

カトリック吉祥寺教会 教会委員会 広報

〒180-0005 東京都武蔵野市御殿山1-7-8

TEL 0422-44-0181/FAX 0422-44-0180 URL ▶ <https://svdtokyo.jp/>

教会維持献金振替口座 郵便振替: 口座番号/00120-1-106084

加入者名/カトリック吉祥寺教会

